

コミュニティ・スクール上西郷学校だより

くすのき

R5. 12. 22 文責: 児島

今年のキーワード 「なりたい自分」「自己決定」「振り返り」



地域・保護者 皆様に感謝!

早いもので令和5年も年の瀬を迎えました。大きな事象もなく、無事に2学期を終えることができほっとしています。皆さま、今年もたいへんお世話になりました。

2学期といえば、やはり文部科学省指定の研究発表会を多くの来会者を得て、無事開催できたことが、学校の成長として大きいものでした。他にも、郷づくり、PTA 役員の皆様にご協力いただき、子供たちが地域の大人とよりよい地域づくりについて語り合う場をもつこともでき、英語だけでなく日本語でも、対話力を伸ばすことができたと感じています。

小規模校である本校は、限られた人間関係の中で子供たちが育っていくので、いかに多様な他者と対話する場を提供するかが、学校の役割の一つであると考えます。それには、学校外の皆様のお力が必要です。いつも子供たちのために学校の教育活動に参画していただき、本当にありがとうございました。3学期も、「地域の子供を地域で育てる」というコミュニティ・スクールの趣旨に則って、共に子育てしていきましょう。学校もよりよい地域づくりに貢献できるようこれからも精一杯努めてまいります。



研究発表会に来られた方々の感想の一部を紹介します。本校の子供たちや職員のがんばりを認めていただいたようで、校長としてもとてもうれしいし、誇らしい気持ちです。

- 生き生きと英語を話す姿がすばらしかったです。これまでの積み上げがあってこそその姿であったと思います。積み重ねの大切さや常日頃からの意識づけ、ダイアログの時間の大切さも実感できる姿でした。
- 子供達の「何か伝えよう」という気持ちが伝わってきて、英語で伝える難しさはあるとは思いますが、子供達の生き生きとした姿を見て、将来がとても楽しみになりました。
- 3年生の導入がすばらしいなと思いました。生きた英会話はライブで生まれることを改めて知りました。
- ここまで子供達を鍛えたことに感服します。モチベーションを保たせ、今日の姿を想像しながら、「なりたい自分」を一人ひとりに描かせてきた指導の過程が素晴らしい、学ぶべき姿だと思います。
- 4年生の女子児童が日本語、英語両方を駆使して練習している姿から常に相手を意識した対話をするのが定着していると感じました。
- 外国の方からの質問に対し、即興で答えるだけでなく、グループのメンバーを巻き込みながらやり取りできる姿を見て、感心するとともに、温かい気持ちになりました。普段から指導者が児童と英語による対話を大切にしながら授業を实践されている様子が目に浮かびました。
- どの子も生き生きとしていて、英語が好きなんだなあ、英語を話してみたいんだなあという思いが伝わってきました。1年生からスタートしている成果がしっかりと表れていたと感じました。

3学期のおもな行事予定

1月 9日 (火) 3学期始業式
3月 14日 (木) 卒業式
3月 22日 (金) 修了式

※1月行事の詳細は、くすのき12月号をごらんください。

12月号でお知らせしていた行事予定に変更がありました。

変更前:避難訓練 1月19日(金)

変更後: 1月18日(木)

3学期は、不審者侵入時に備えた訓練を行います。



12月9日福津市主催「男女がともに歩む」一行詩優秀作品表彰式が、福津市中央公民館で行われました。本校では毎年、5年生が応募をしています。今年は、生津彩愛さんの作品が選ばれ、原崎市長より賞状が送られました。

作品「大切なのは男女関係なくみんなが幸せになること」

成果と課題は子供の姿と言葉で

今年度から導入した「子供が自分の成長と課題を自分の言葉で語る三者面談の実施」それに伴う「2学期あゆみの廃止」。保護者の皆様はどのように受け止められたでしょうか。時間の都合をつけるという難点はあるでしょうが、校長としては、担任と保護者が子供をまんなかにすえ、笑顔で語り合っている姿は、とてもほほえましく思えました。従来の「あゆみ」では、子供の様子を限られた文字数で伝えることが難しいこともありました。しかし、直接お伝えしたり、その場で質問にお答えしたりすることができ、子供の「なりたい自分像」を共に支えていこうという関係を築くことにつながっているのではないかと考えています。

また、テストの点数をグラフ化してお伝えするのも、初めてのことでした。クラス平均と比較して「うちの子は勉強についていけないのでは・・・」と心配になられた方もいらっしゃるかもしれません。テストの点数を上げるためにどんな勉強をすればいいか・・・ということも共に考えてはいきますが、ご家庭と共有しておきたい考えは、「テストはお子さんの学力を示す全てではない。一部でしかない」ということ。そしてもう一つ、これが一番大切ですが、「『対話力』『粘り強く努力する力』『主体性』といった点数でははかれない力こそが『真の学力』である」ということです。子供たちが「学校が楽しい」「なりたい自分に近づいている」などと幸せを感じながら生活できることが、何よりの願いです。



福津市教育委員会より、「ホームページのセキュリティ上の課題が見つかり、現在、福津市として対処を検討中」との連絡が入っています。そのため、「学校だより くすのき」をホームページから一旦、削除しています。紙媒体での配付はこれまでどおり行いますが、ホームページにどのような情報を上げていくかは、今後、学校としても検討し、精査していきたいと考えています。